

将来のお金を 考えませんか？

毎月3万円を
30年間積み立てた場合
約660万円の差が!?

年率3%で運用できた場合
約1,740万円

その差!

約
660
万円

運用なしの場合
約1,080万円

インフレ率 2%

しかも、何もしていないとインフレ時に
資産が目減りしていく。。。

0円

30年

貯蓄と投資では貯まるお金がこれだけ大きく違ってきます！

こんなお悩み
ありませんか？

- ☒ いつから始めれば良いか、わからない。
- ☒ 子どもの教育費を準備したい。
- ☒ 年金ってどれだけ受け取れるんだろう。

investment

資産運用 のことなら
全て解決!

「長期・積立・分散」に
関する動画はこちら↓



その保険、 本当に必要ですか？

保険料は毎月
5,500円でも
いいかも!?



保険に加入する前に、
公的保障や企業内保障
について調べてみましょう！

！ ご存知ですか？ いろいろな補助制度が
あります！

高額療養費制度

重い病気などで病院等に長期入院し
たり、治療が長引き高額となった医療
費の自己負担額を軽減できるように
医療機関や薬局で支払った額が、一定
額を超えた場合に、その超えた金額を
支給する制度。

このような制度があるので
意外と医療費はかからない。

遺族年金

被保険者が死亡したときに、残された
遺族に対して支給される公的年金。

月給30万円35歳のサラリーマンの場合
(奥さま30歳、お子さま3歳と1歳)

奥さまに支払われる遺族年金

総額約 **4,500** 万円

保険料の
負担

公的保障制度を知ること、保険をスリム化できることもあります。

本当に必要な保険を
考えてみませんか？

- ☒ 加入中の保険が最適なのかが知りたい。
- ☒ ローンの借入を機に家計を見直したい。
- ☒ 家族構成が変わったのでプランを見直したい。

insurance

保険 のことなら
全て解決!

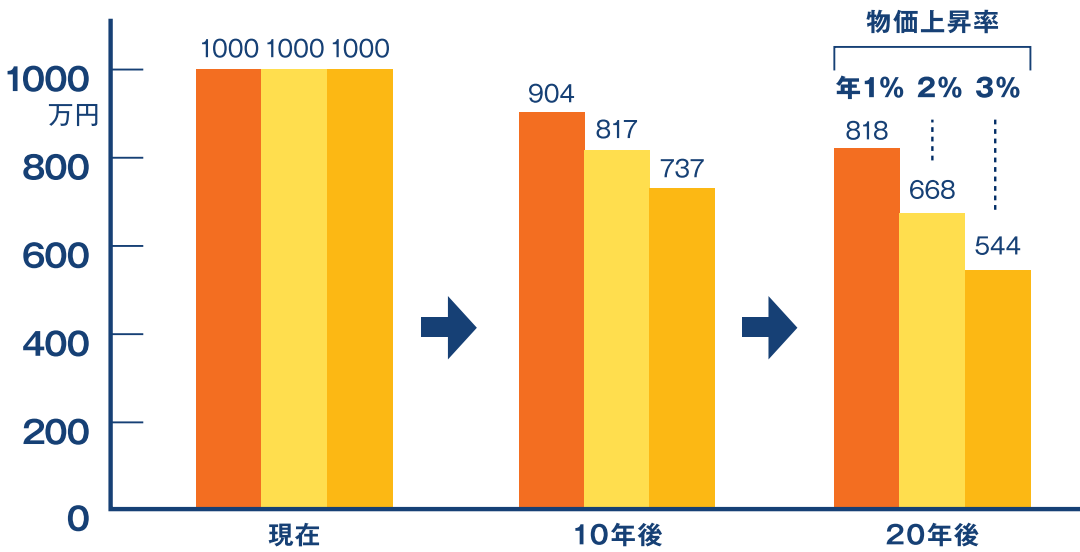
保険に関するマメ知識
動画はこちら↓



投資信託 NISA iDeCo など

資産運用 のことなら全て解決!

たとえば！
インフレが続くと
現金1000万円は
どうなる？



(注) 金利はゼロ、物価上昇率は一定として実質価値を試算

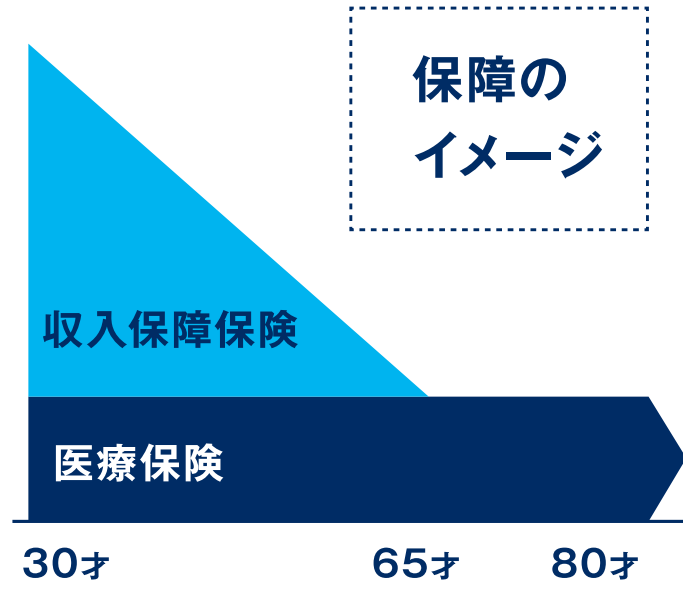
生命保険 医療保険 など

保険 のことなら全て解決!

夫婦(30代)＋お子さま1人のおすすめプラン

	【病気の備え】 医療保険	【万が一の備え】 収入保障保険
保険金	日額5,000円	月額100,000円
保険料例	約1,970円	約3,380円

※上記はあくまでおすすめプランであり、当行ではお客さまのご意向に応じたご提案を行います。
※詳しくは各支店窓口・マネープラザにお問い合わせください。



資産運用やこれからの人生にかかる「おかね」のこと、本当に必要な保険についてのご相談は北國銀行まで！

「休みの日に夫婦でゆっくりと相談したい」
「色々聞いてみたいが、平日はあまり時間がとれない…」

マネープラザ、休日営業店舗なら
土日・祝日もご相談いただけます！

マネープラザ・休日営業店舗の
ご予約はこちら♪



【投資信託に関する留意事項】●投資信託は株式、公社債、不動産投資信託など値動きのある証券に投資しますので、証券等の価格の変動(外貨建ての資産に投資する投資信託においては、為替相場の変動もあります)により、基準価額は変動します。したがって元本および分配金の保証はなく、投資金額を下回ることがあります。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。●当行で販売する投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客さまに帰属します。●当行は投資信託のご購入・ご換金のお申込について取扱を行っております。投資信託の運用は投資信託委託会社または投資顧問会社が行います。
【投資信託に関する手数料・費用について】●ご購入時：申込手数料／お申込金額に対して最大3.3%(消費税込み) ●運用期間中：信託報酬／信託財産の純資産総額のうち、お客さまの保有額に対して最大年2.015%(消費税込み) ●ご換金時：信託財産留保額／ご換金時の基準価額に対して最大0.50%(信託財産留保額がわからないファンドもあります) ●その他の諸費用：監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料などの手数料が信託財産から控除されます。(なお、当該費用については、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。) ※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込みになる個別のファンドや金額、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。各商品の詳細については、各ファンドの投資信託説明書(目論見書)および目論見書補完書面等をよくお読みください。
【保険商品のご検討にあたりご留意いただきたいこと】●当行は保険の募集代理店であり、お客さまと引受保険会社との保険契約締結の媒介を行い、代理権はありません。保険契約はお客さまからの保険契約のお申込に対して引受保険会社が承諾したときに有効に成立します。契約の相手方は当行ではなく、引受生命保険会社となります。●各種保険商品は、引受保険会社が保険の引受を行う生命保険商品であり、預金等ではありません。したがって預金保険の対象ではなく、また、元本および利息が保証されているものではありません。●引受保険会社が経営破綻等に陥った場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られます。その場合、ご契約の際にお約束した死亡保険金、積立金額、解約返戻金および将来の年金額等が削減されることがあります。中途解約の場合は、運用実績、契約初期費用、解約控除等によって解約返戻金は払込保険料を下回る場合があります。また商品によっては中途解約の解約返戻金がない場合があります。●保険商品によっては、契約初期費用、保険関係費用、資産運用関係費用、積立金移転費用、年金管理費用、解約控除、市場価格調整等の費用がかかります。ご負担いただく手数料やその料率は、商品によって異なり表示できませんので、商品ごとの契約概要、注意喚起情報、ご契約のしおり、約款等で十分にご確認ください。各費用の合計額がお客さまにご負担いただく費用等の合計額となります。●一部の保険商品は、特別勘定で運用されます。特別勘定は主に投資信託等で運用されるため投資リスク(価格変動・為替・信用・金利変動・流動リスクなど)があり、特別勘定の運用実績によっては、解約返戻金、死亡保険金や年金原資が払込保険料を下回る場合があります。●外貨建保険は、為替変動リスクがあります。死亡給付金や年金原資を受取られた時点の為替相場で円換算した金額が、契約日時点の円換算した保険料を下回る場合があります。●死亡保険金、解約払戻金等受取時の通貨が一時払保険料の払込通貨と異なる場合、為替相場の変動により、損失が生じるおそれがあります。●また、円貨から外貨に替える為替レートと、外貨から円貨に替える為替レートに差がある場合があり、為替相場に変動がなくても、払込保険料を下回る場合があります。●外貨建て保険の場合には、この他に為替手数料や外貨取扱手数料がかかる場合があります。●保険商品をご契約いただくか否かが、お客さまの当行における他のお取引に影響をおよぼすことは一切ございません。●保険業法上の規制により、お客さまのお勤め先や、お借入れのお申込状況等によっては、当行では保険商品をご契約いただけない場合があります。●ご検討にあたっては、必ず各商品専用の契約概要・注意喚起情報・ご契約のしおり・約款・特別勘定のしおり(変額年金の場合)等の資料でご確認ください。北國銀行の本支店または、マネープラザにご用意しております。

【商号等】株式会社北國銀行 登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号
【加入協会】日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会